

平成26年度損益計算書
自平成26年2月1日～至平成27年1月31日

事業総損益	(単位:千円)	
収益	649,736	
費用	476,648	
事業総利益	173,088	
事業管理費	171,248	
事業外損益	1,890	
経常利益	3,730	
特別損益	310	
税引前当期純利益	3,420	
法人税・住民税	616	
当期剰余金	2,804	
前期繰越剰余金	2,316	
当期末処分剰余金	5,120	

総代百四十名(本人出席八十八名)が出席し、議長に塩尻市宗賀の荻上一磨氏が指名され議長が進められ、八号議案すべてが原案通り可決承認されました。



平成二十七年四月八日、第八回通常総代会が「もくりゅう館」会議室において開催されました。

**第8回通常総代会開催
全議案 原案通り承認**

しんくみ 森組 まつもと 広域 第14号

発行 平成27年6月28日
松本広域森林組合 JForest



平成26年度事業報告
松くい虫被害の予防と被害木の処理、間伐材の安定供給に向けた経営計画の作成、森林施業の集約化・路網の整備・機械化・人材育成を集中的に推進しました。こうした中で、森林整備面積一、〇〇三ヘクタール、素材取扱量一九、三三五m³、総取扱高一、一一三、〇八八千円の実績を計上できたことが報告されました。



森林整備事業にかかる不適切な補助金申請について(お詫び)
平成27年6月12日(金)の長野県林務部プレスリリースにて「松本広域森林組合：平成25年度の間伐事業において、交付申請時に6件の未完了箇所があったことを確認しました。(現時点では全ての箇所が完了。)」との発表を受けマスコミで報道されました。

組合員の皆様にもご心配を頂いております。この年は例年になく豪雪があり作業が遅れ、その年の5月には完了してあります。組合として言えることは、この補助制度に照らし合わせ実績補助という点で「事業完了したものについて申請する」という点で不適切であったことは認める事実であり、深くお詫び申し上げます。

特にこの時期、冬場の年度末での申請についてはすべてが完了した事を現場担当者だけに任せるのではなく、チェック体制を強化して確認し申請する体制を整えます。

今後は担当者のスキルアップ・法令順守により一層力を入れて、今以上に役員一致団結し、この地域の林業振興に力を注ぐ所存であり、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

組合よりお知らせ
日頃より組合運営に御協力をいただき、誠にありがとうございます。

総務課より
毎回広報発送に合わせ、組合員の名義・住所等変更のご連絡をいただいております。お手元に届きましたこの広報の帯封に印字されておりますお名前は、現在当組合に登録されている方の情報となっております。組合員情報変更は申告制となっております。今一度帯封をご確認いただき、登録情報に変更のある方は総務課までご一報ください。

購買係より
昨年も秋から冬にかけて、木質ペレットをたくさんの方々にご利用頂きありがとうございました。また、しばらくシーズンは来ませんが、現在10月からのシーズンに向けた仕入の調整をしております。調整する中で現段階において10月以降は値上げをせざるを得ない状況が見込まれます。9月末日までは現在の販売価格480円(税込)でご購入いただけますので、ストックスペースがある方は、ご購入頂けることをお勧めいたします。(なお、現在の在庫が残り次第の終了となります。)

購買係 ☎ 0263(64)3300

信州山の日記念イベント
第67回全国植樹祭ながの応援イベント

森の恵みふれあいまつり
平成27年8月1日(土)
場所：三郷温 4000番地
中信木材センター(もくりゅう館)

板材一点物販売!
植樹祭記念! 苗木無料配布!
無料! ヒノキの my 箸作り などなど

お待たせしました! 今年も、林業資材を各種取り揃えた、森林組合購買チラシが出来てきました。昨年より、裏面に長野県版のおすすめ商品が載っております。送料などの関係で、お取り寄せに多少のお時間をいただく場合も御座います。気になる商品がございましたら、ぜひ購買係まで、お問い合わせください。

購買係 0263(64)3300

3月4日納車
モロオカ MST-650VDL
最大積載量：3,500kg

今年度新しく加わりました戦力をご紹介します。走行集材機「フォワード」です。3月4日に筑北支所へ入ってきました。名前のとおり、自らに装備されているグラップルを使って材木を積載、走行して集材を行ないます。

導入後は四賀地区板場の更新伐の現場で活躍をしております。今後大型車が入っていきやすい作業道や悪路の現場での活躍が期待されます。

**新戦力入りました!!
走行集材機「フォワード」**

松本広域森林組合 安曇野市三郷温4000番地 0263(77)2413
URL <http://www.matsumoto-forest.jp>

第958回 市売り市況表
(平成27年6月18日実施)
長野県森林組合連合会 中信木材センター
Tel 0263-77-2317 Fax 77-2319
◎ 強気配 △ 弱気配

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	安値(円/m)	高値(円/m)	中値(円/m)	気配	備考
すざ	3.0	直	16~18	2,500	12,000	9,000		3.0m×14~18cm柱取り引合いあり。20cm以上は4.0m造材してください。
	4.0	直	30上	2,500	20,000	13,000	△	
ひのき	3.0	直	20上	7,000	20,000	13,000	-	
	4.0	直	20~28	7,000	20,000	13,000	-	樹皮横断、良材に高値。
からまつ	4.0	元	36~46	45,000	120,000	80,000	○	
		達	6~13	2,500	10,000	8,000	-	
	4.0	直	14~18	2,500	10,000	8,000	-	
		直	20上	2,500	14,000	11,000	-	材不足しています。ご出品お願ひいたします。
あかまつ	4.0	曲	14~18	2,500	8,000	5,000	-	
	4.0	曲	20上	2,500	11,000	7,000	-	
あかまつ	4.0	達	18~28	3,500	12,000	9,000	△	
		達	30上	3,500	15,000	8,000	△	需要期過ぎ材価格低減。良材に高値。
もくりゅう	4.0	元	40~50	25,000	110,000	35,000	○	
		達	18~40	4,500	20,000	15,000	○	
もくりゅう	4.0	達	20~40	4,500	15,000	12,000	○	
		達	16~44	4,500	35,000	15,000	○	

出品量 3,244 m³ 販売量 3,124 m³ 落札率 96% 買い方 36社

次回市 7月6日(月)

総務課 田中 康
主任 曾根 成明
係長 千嶋 玲子
係長 北村 妙子
係長 赤羽 大輔
主任 中野 忠夫
主任 飯沼 千賀子
主任 森島 史恵子
主任 山本 健太
主任 勝山 崇史
主任 三浦 正博
主任 下里 好文
主任 竹内 正文
主任 武井 均弘
主任 丸山 拓也
支所長代理 森下 拓也

あづみ支所(奈川事業所) 高木 聡
支所長代理 清水 直幸
主任 小林 亮介
主任 上田 一裕
支所長 片桐 浩
支所長代理 山岡 正人
支所長 上野 伸一郎
主任 薄井 健
主任 原 弥生
主任 有賀 弘好
主任 小笠原 順次
主任 西澤 正太
支所長代理 斎藤 浩志 (筑南支所)

退職 斎藤 浩志 (筑南支所)

**第8回通常総代会開催
平成27年度事業計画**

「信州F・POWERプロジェクト」の稼働や、農林業振興を目的とした木質バイオマス計画が進められ、木材の流通が活発化し地域林業活性化に期待します。供給事業者としては体制整備を図る中で系統運動『森林組合共活動21世紀ビジョン』・3rdステージ「国産材利用拡大と森林・林業再生運動」を軸に、健全な組



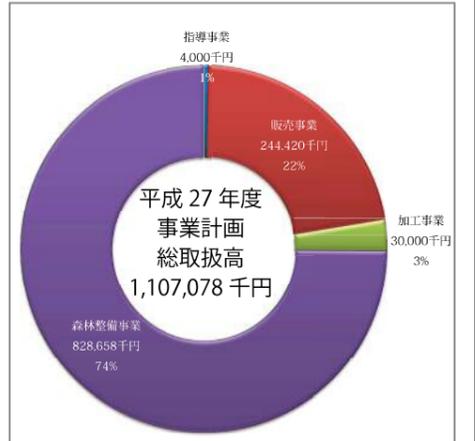
平成27年度損益計画書
自 平成27年2月1日 ~ 至 平成28年1月31日

		(単位:千円)	
事業総損益			149,346
収益	553,258		
費用	403,912		
事業管理費		145,500	
事業外損益		200	
特別 損益		0	
事業利益			3,846
経常利益			4,046
税引前当期純利益			4,046
法人税・住民税			800
当期剰余金			3,246
前期繰越剰余金			2,620
当期未処分剰余金			5,866

丸太材届きました!!

ある日の午後です。筑北小径木加工場の土場に組合の輸送班が運転する2台の大型トラックが入ってきました。二台が揃って材を卸している風景は珍しいので思わずカメラでパチリ♪

加工場では手前にあるような円柱加工をしています。主にはカラマツを利用した土木用材となる丸太や丸太杭なのですが、必要に応じて防腐加工を施して、金具が着いたり、丸太を利用した加工製品になって出荷される場合もあります。先に書いたように加工場で取り扱う材料になる樹木は主としてカラマツの間伐材です。今回入ってきた材もまさしくカラマツ！奈川の現場から出たカラマツ材だそう。現在奈川地区では、カラマツ林20分の間伐を行なっています。奈川地区はカラマツ林が多くありますが、今回の現場も約50年程前に植林されたカラマツが丁度伐期に



合活動と組合員への還元を目指すとともに中期計画（平成27～31年度）に基づき計画的な組合運営と地域の森林づくりの基礎を作ります。事業実施にあたっては、現場における規制等について関係機関と事前確認を徹底し法令順守に努めることを承認された。



来ており、あづみ支所所属の林産班によって、どんどんと造材されています。さて、トラックに戻りましょう。右手に見える緑のトラックはグラブ付の8ト車。木をつかむための爪のようなものが付いていますので、運転席の上の操縦台に乗ってトラックの上に載ったカラマツ材をつかんで降ろしていきます。もう一台は平ボデーの6ト車、こちらは支所で待ち構えていたPC78 (PC78は以前広報第10号にて新戦力加入としてご紹介した機械です。) を使って降ろしています。今日の入荷は、2台合わせて250本ほどが載っていました。

現場では約1800㎡の出材を予定しており、生産される材のうち半分は征矢野建材や林ベニヤへ直送され、残りは中信木材センター等へ出荷されます。その中から工場向きの小径木約1000本を生産してもらおう予定です。

材価の安い昨今ですが、カラマ



質疑応答

今回の総代会の質疑応答の際に、当組合の管内でまだ被害の出ている地域に住む総代より、こんな質疑が出されました。

Q. 激甚地のような状況になってしまっただけでは遅いので、空中散布については反対意見もあるが、防除について積極的に対応して欲しい。また、空中散布の効果についてお聞きしたい。

増田専務理事より、「A. 松くい虫防除における空中散布については、組合では対応していないので、空中散布について強い要望があった旨、行政へ伝えておきます。なお、安曇野市、松本市において無人ヘリによる空中散布を実施しています。効果があらうようです。」との回答がありました。松本広域森林組合は各自自治体が主導のもと行われておりますので、効果の部分については詳細データが無いために、それ以上はお答えできませんでした。

その件につきまして、安曇野市・松本市の担当課へ後日問い合わせをして、現在の状況を聞いたところ、次のような回答が返ってきましたのでお知らせいたします。



ツ材に対しては合板を中心に需要が伸びており、今後も積極的に、事業を進めていきたいと担当者と言います。所有者の方にとっては50年前の努力が今やつと実った事になります。

今回入荷した約10cm前後の小径木は、太さに合わせて選木され、順番に円柱加工機に入ります。出れるサイズは、径6cmから20cmまで、今回の材はどんな形に姿をかえるのか楽しみです。

当組合の管内では、木質バイオマス発電に関する事業が盛んに進んでいます。新たな県産材の利用促進手段として期待するところではあります。50年前に人の手で植え、育てられた木が、また、人の手によって形を変えて利用される。材を運ぶ2台のトラックから、ちよつとうれしい光景をみたく思います。



松本市：空中散布の効果は3年（3回）を経て実証できる。松本市は、今年度3回目の散布を実施することになっており、現在のところ効果に対する結果はまだ出ていない。

安曇野市：松本市同様、今年度の散布が有人ヘリは2回目、無人ヘリは3回目であるため効果に対する結果はまだ出ていない。

との事でした。どちらも、今年3回目の実施とのこと、次年度には効果に対する結果が出ると思われます。

組合も合併して8回目を迎えた総代会、積極的な質疑応答の場面もみえ、総代の方々の地域の森林をなんとか良くしていきたいという思いの伝わる良い総代会となりました。

ご出席いただきました総代の皆様へ改めて、感謝・御礼申し上げます。

松を守る！ 散布剤のおしらせ

松くい虫の話題はなかなか終息を見ることができず、予防については、予防剤の使用が重要となります。

現在ある予防方法は樹幹注入と散布の2種類で、どちらも使用適期がある為、今の時期対応しているのは散布剤のみです。マツノマダラカミキリの成虫が飛び交う8月中旬頃までが使用期となります。

樹幹注入
12月中旬～3月中旬頃までに行います。

散布剤
1この期間に2、3回

樹幹注入剤
その年の気象状況等により若干のずれがある。

害虫の発生期と予防剤使用適期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
害虫の発生期	上中下 旬旬旬											
散布剤使用適期												

マツノマダラカミキリ成虫発生期
カミキリ虫の食害跡からサイゼンチュウが松の中に侵入すると枯れてしまう。

《予防剤の使用適期》
散布剤 (マツグリーン液剤2)
樹幹注入剤 (グリーンガードNeo等)

12入 3,060円 (税別)